

「核兵器のない世界」を実現するために、平和のタスキをつなぎましょう

被爆 65 年東京～広島～長崎 1 5 0 0 km反核平和マラソン実行委員長

永井 博

「被爆 65 年東京～広島～長崎 1500 km反核平和マラソン」に参加のみなさん！
本当にご苦労さまです。心からの歓迎と連帯のあいさつを申しあげます。

「核兵器のない世界」は今日、世界の合い言葉となりつつあります。昨年 4 月、オバマ米大統領がチェコのプラハで「核兵器のない世界」を追求すると演説してから、今年の N P T 再検討会議に連なる山並みは、「核兵器のない世界」を求める世論が力を増し、世界の大勢となっていることを強く印象づけました。

5 月の N P T 再検討会議では、2000 年会議の合意「核兵器国による核兵器廃絶の明確な約束」の追求、「核兵器のない世界を実現するための枠組みの必要」が確認されました。

会議ではまた、「本会議は、核兵器のない世界の達成に関する諸政府や市民社会からの新しい提案およびイニシアチブに注目する」ことを明記し、市民社会の果たす役割を高く評価しました。

また、N P T 再検討会議は「核兵器のない世界」に向けて、唯一の被爆国である日本が動けば世界が動くことを示しました。日本の草の根の取り組みが、国際的な前進を生みだすのです。

私たちは、1995 年、2005 年につづいて被爆 65 年の今年、東京～広島～長崎 1500 kmを「核兵器のない世界」実現のために、平和のタスキをつないで走ります。しかも、全国各地の反核平和マラソンを走る仲間と心をつなげて走ります。私たちの反核平和マラソンは、スポーツ分野での草の根の取り組みです。私たちの走る一歩一歩が、スポーツの分野からの「核兵器のない世界」実現へ向けた国際的な力強いメッセージとなるでしょう。

今回も、フランス・F S G Tのランナー 5 名が参加します。今回はそれだけではありません。アジアの仲間を迎えます。隣の国である韓国から、「韓国九条の会」と「韓国体育市民連帯」のランナー 5 名も参加します。国際的な連帯の輪が広がりました。

夏の日射しの下、高温多湿という過酷な条件の中を走ります。そこから発信される反核平和のメッセージは、強いものになるでしょう。体調に十分気を付けて、沿道の人々に反核平和を大いに訴えて走りましょう。

最後になりましたが、1500 km反核平和マラソン成功のためにお力添えをくださったすべての組織・団体、個人、そして運営にたずさわるすべてのみなさんに心からのお礼を申し上げ、あいさつとさせていただきます。